

【令和4年9月6日事故発生】

後進するダンプトラックの背後に入り、ダンプトラックとバックホウに挟まれ

死亡



●事故概要

・仮設構台上の作業員が、後進中のダンプトラックの背後に入り、また、ダンプトラック運転手はこれに気付かず後進し、バックホウとダンプトラックの間に挟まれ死亡した。

<事故発生の詳細状況は次頁を参照>

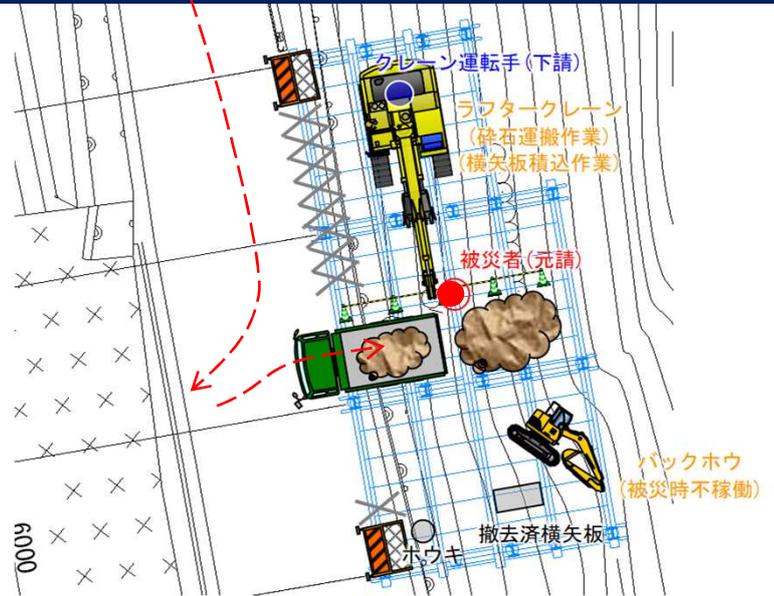
●事故原因

- 1)当該作業における作業計画書の作成を怠った。
現場代理人は、**当該作業を被災作業員に一任していた。**
- 2)ダンプトラックの後退に対する作業員の安全対策が不十分であった。
 - ・運転手は**誘導がない**にもかかわらずダンプトラックを後退させた。
 - ・被災者は誘導をすべきところを誘導せず、**別作業を行っていた。**
- 3)安全に対する事業者の取り組みが不十分であった。
 - ・安全訓練を一部の作業員に実施するにとどまり、**本作業を行う作業員全員を安全訓練に参加させていなかった。**

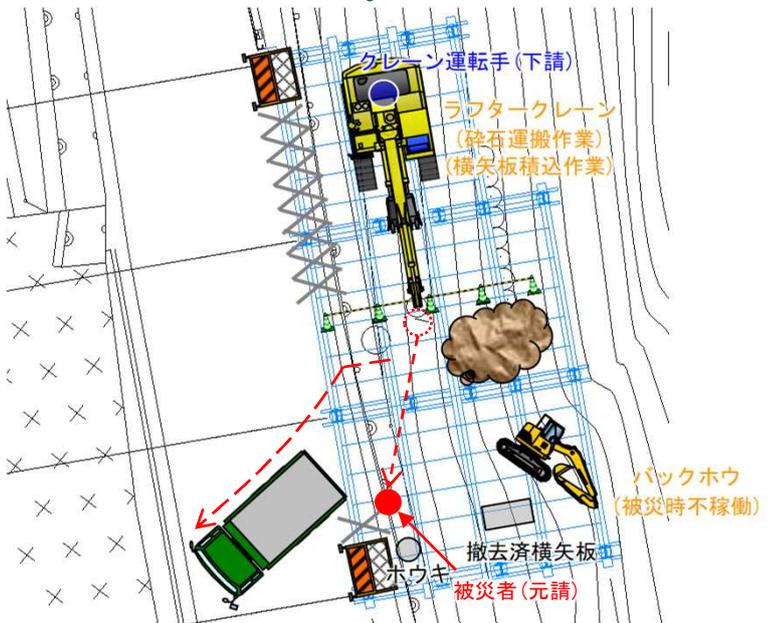
事故発生の詳細状況

- ①
- ・北側から来たDTが埋戻し材を仮設構台へ荷降ろし
 - ・被災者は、DT右側後方で誘導

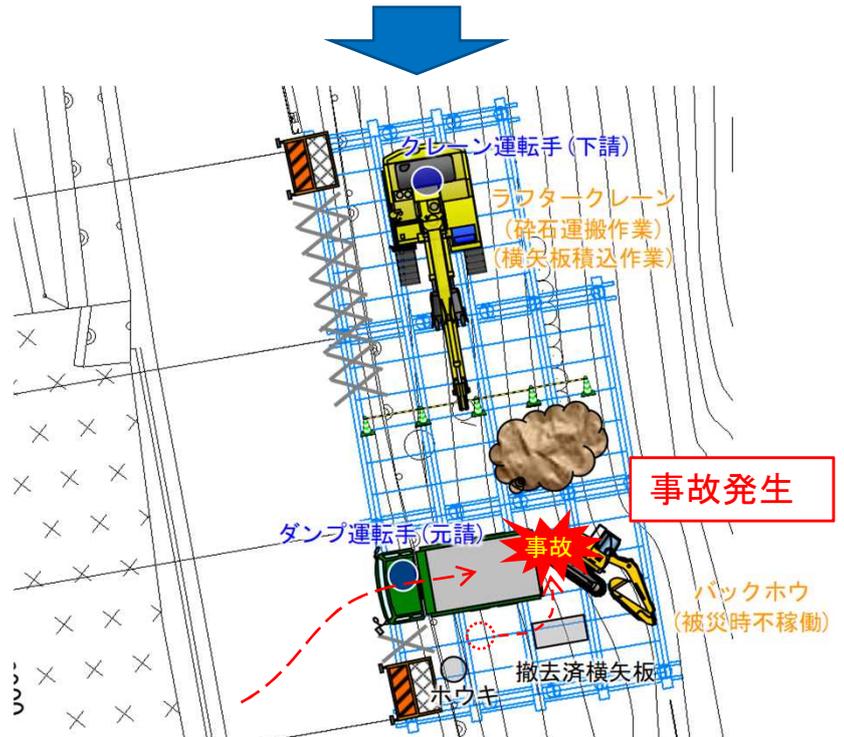
注)
DT：ダンプトラックの略
BH：バックホウの略



- ②
- ・被災者は、空荷になったDTへ横矢板を積み込むため、DT運転手へ駐車位置の変更を指示
 - ・被災者は、DTが車道へ出た後、DT左側へ移動



- ③
- ・被災者は、DT後退時に荷台後部の落ちてきている碎石に気付き、ほうきを持ち、DT背後で別作業を開始
 - ・DT運転手は、誘導指示なしで後退。死角に被災者がいることに気づかず、DTとBHの間に被災者を挟んだ。



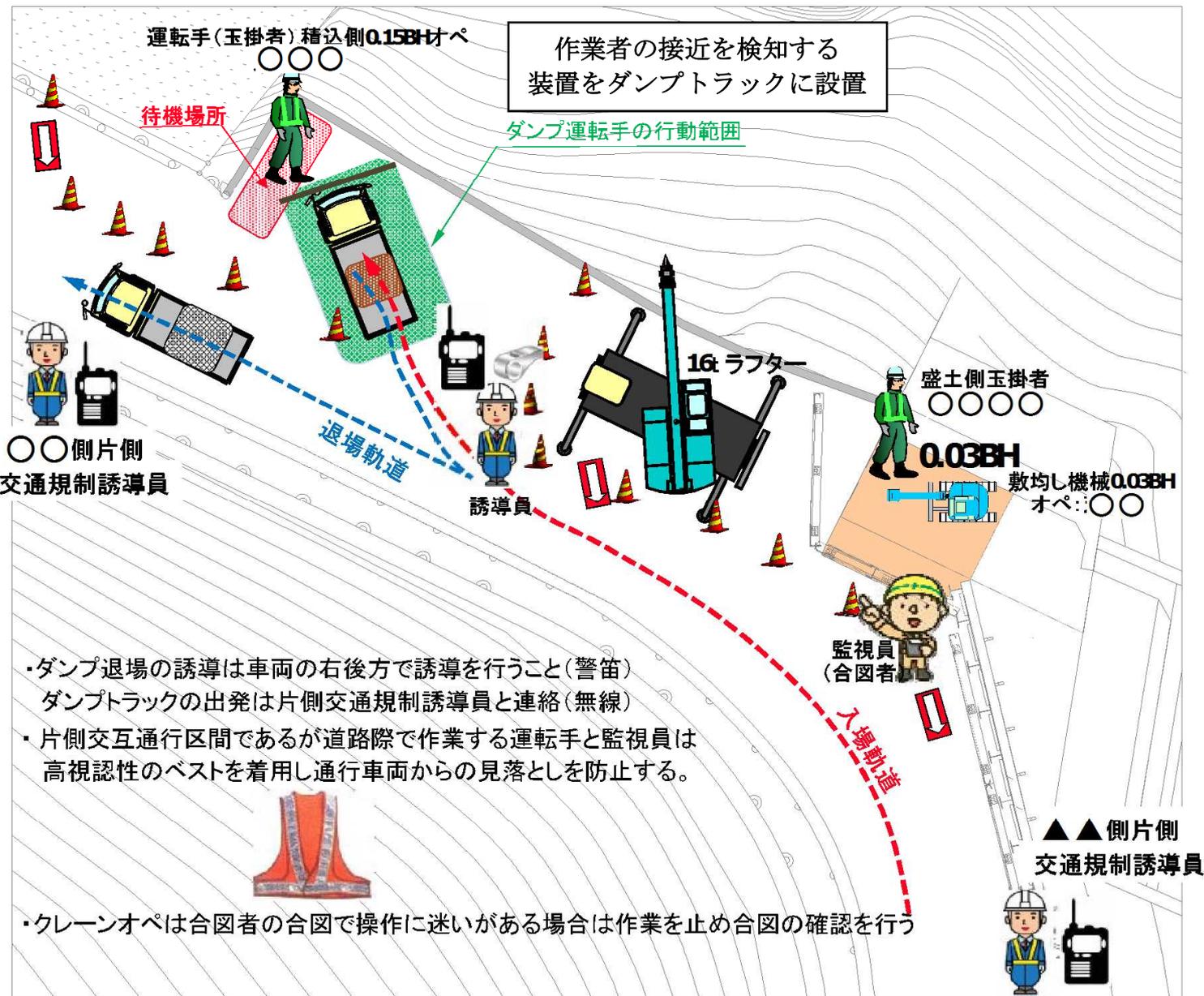
再発防止策②

2 DTの後退に対する作業員の安全対策の徹底(DT後退時の交通誘導員の配置、誘導位置、合図等の約束事を作業計画書に明記)

【作業場所及び作業範囲と運行経路等】

計画書打ち合わせ時に下記項目で該当するものは確実に表示する

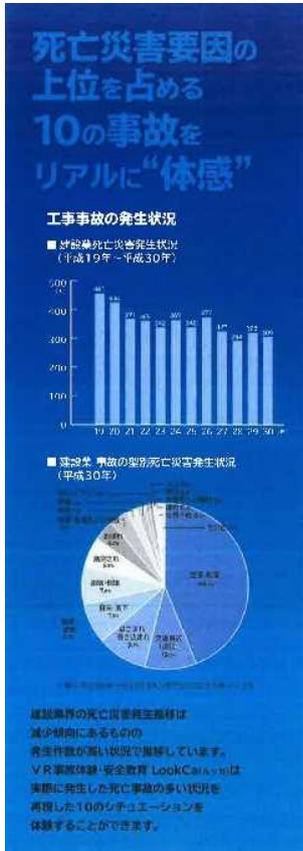
- 積込・荷卸場所 付属する機械設備等 運行経路 安全通路 立入禁止区域 旋回方向 制限速度
退避場所 誘導者 転落危険箇所 交差点 道路幅員・勾配 架空線等の位置 その他



- ・ 積込み側ヤードへの路床材ストック量は大型2台分以下とすること。また、ワイヤーモッコウへの路床材の積込みは過度に積込まないこと。
- ・ ヤードに入場する時は、後続車両に早めの合図を示す。またヤードから出発する時は、両側からの車両に余裕を持った車両走行を行うこと。

作業計画書への記載イメージ

3 安全に対する事業者の取組強化と作業員の安全意識の向上・徹底（VR技術を用いた不安全行動の危険性を体感させる訓練の実施）



VR事故体験 安全教育 LookCaravan

ルツカ

本施設は工事現場で取りこぼし易い労働災害の防止を目的として作成しました。VRにより、作業手帳が書きずらい、突然の状況の発生を想定した訓練の場、また現場での事故の発生をリアルに体感していただく。工事現場の安全教育に役立ちます。

製品の特長

- 商品の構成はヘッドマウントディスプレイとヘッドフォンのインターネットに接続したり、PC接続が不要です。
- 短時間で準備の必要としてVRで事故を体験します。作業手帳が書きずらいのが検出、再発防止を教育します。
- 現場でもどこでも手軽に持ち運びでき、簡単な操作で体験できます。

① 墜落災害
建設業において、死亡事故の種類の第1位は墜落・転落事故です。「墜落災害」では、現場での作業における危険性を再現しています。

② 飛来・落下災害
建設用クレーンによる上下作業に起因して、当該作業員の安全確認の重要性を再認識できます。



安全工事現場事故体験VR（ヴァーチャルリアリティ）システム



VR実施イメージ

事故を踏まえた事務所の取組

1 施工中の全ての工事等において、複数の監督員と受注者で安全パトロールを実施



複数の監督員による現場確認状況

2 労働安全コンサルタントを講師に迎え、技術職員全員を対象とした安全講習会を開催



安全講習会の実施状況